

委員会紹介

撮影日の都合で、写真に写っていないメンバーもいます。

夢発信委員会

いつまでも記憶に残る感動をエクラから持ち帰ってほしい。そんな夢を追い続けて一年。500席が埋まるだろうか、という現実と向き合いながらも、常に前向きでバワフルな「夢発信委員会」です。「いいと思ったことは、まずやってみよう!」と種をまき、水をやる。そうすれば、いつか小さな芽が人の心をつないでくれる。明るさ一番の委員会の面々はそう信じて、これからも「夢」を語り続けていきたいと思えます。



みんなのエクラ委員会

みなさんから、エクラの施設を利用したアイデアを募集し、その夢をかなえるお手伝いをするために、みんなのエクラ委員会は発足しました。現在、メンバー数は10名で、「エクラギャラリー」や、「ハートフルサロンステージ開放」の運営をしています。「自立」というキーワードで関わりあっている中で、ひとつひとつのみなさんの力が、今より大きな市民活動のうねりにつながっていくことを願い、その助けとなるよう一歩一歩進めてまいります。



エクラミュージアム委員会

エクラミュージアム委員会は、エクラのハートフルサロンを活用してミニ博物館を開催する委員会です。第1回は「ひとくはINエクラ」を開催、「兵庫県立人と自然の博物館」のご協力をいただき、ティラノサウルス頭骨レプリカやモルフォ蝶標本などを展示しました。第2回は「みんなくはINエクラ」を開催、「国立民族学博物館」より民族衣装や民族楽器等をお借りして展示を行うと共に、エスベランサー、青山篠笛サークルによるフォルクローレミニコンサートも開催しました。2006年7月には「おもしろ化石博INエクラ」を開催予定ですので是非、ハートフルサロンに足を運んでいただきたいと思います。私たちの委員会は4名と少数ではありますが、これからも熱意とチームワークで「見て、触れて、体験する」をコンセプトに活動して行きたいと考えております。



アルシェ子育て支援委員会

私たちはさらなる子育て支援の輪を広めたく、これまでの「託児委員会」から「アルシェ子育て支援委員会」と委員会名を変更しました。毎月第3金曜日に委員会を持ち、活発な意見交換を行っています。また、2ヶ月に一度サポーターの方たちとの定例会や委員会通信「ちびっこバク」も発行。今年度、私たちは子育て支援事業企画第1弾として昨年12月に「香りのあるフラワーアレンジメント」2月には「ヨガ」講座を開催。講座の間、私たちが子どもたちを預かりましたので、どちらも子育て中の方にとっては、リフレッシュできる時間を持てたと好評でした。子育ては家庭という枠を超えて、人や社会と関わっていくことで、もっと楽しくなるのではないのでしょうか?私たちは子育て中の方の学習や活動を託児を通してサポートし、自分自身も成長していく...成長できたら...と思えます。そんな活動仲間も大募集!!



TEAM裏方

エクラサポータークラブ「TEAM裏方」は、エクラホールで行われるイベントにて裏方サポートをしているボランティアです。分かりやすく名前そのままです。舞台上で音響反射板を組んだり、ピンスポットを当てたり、BGMを流したり...。イベントの成功・主催者の方の喜びがそのまま私達の喜び、やりがいになっています。裏方は表には出ません。が、一瞬一瞬の緊張感や責任感、そしてそこを越えてこそ得られる充実感他には変え難いものです。姿形は見えませんがすべてのイベントの裏に私達はいます。



フロントチーム

エクラサポータークラブフロントチームは、エクラのフロント養成講座を受講した者で構成されており、エクラで行われる様々な催しで、受付や会場内外の案内などを行っています。まだまだ経験が浅いため行き届かない点が多いのですが、常に笑顔忘れず、エクラに来られた皆さんが楽しく過ごしていただけるよう努めたいと思っています。日常生活のわずらわしさを忘れて音楽、演劇、映画、舞踊などにふれる心豊かなひととき。そんな時間を越しの皆さんと共有することができれば幸せにどうぞよろしくお願いいたします。

ガーデニング委員会

おのガーデニングボランティア総勢133名、そのうちの57名のエクラ班で種からの育苗と植栽をしています。北播磨市民活動支援センターのガーデニング委員会は、市制でもある「ガーデニングシティおの」をめざして「色と香りのまちづくり」「生活循環型」のまちづくりを目標に3年間の「ガーデニングインストラクター養成学習会」で花や緑のまちづくりの共通知識と共通意識を養い、「フラワーマイスター」の称号を得て活動しています。私たちは、春と秋の植栽デザイン、管理スケジュール、最も大切な「こつこつ植栽管理」を週3日行っています。また一方で、NPO法人化を目指してG(ガーデニング)会員組織の充実と楽しみ、広域交流、夢、生きがい作りの仕組みづくりを考え続けています。また、花で人づくりや活動のきっかけができ、他の委員会との結びつきで楽しみが広がる事を期待しています。



例会委員会

例会委員会は、現在6名の委員で運営しています。北播磨市民活動支援センターの1年間の例会のスケジュールを決めて、各委員会やチーム、受託団体等に月例会をお願いしています。前年までは、全ての例会企画を、例会委員会でやっていましたが、様々な委員会やチームに担当いただくことによって、多種多様な例会企画が提出されています。現在の時点で、すでに7月例会までの企画が提出されています。支援センターの各委員会には、本当にパワーのある方がいらっしやることを、再認識しています。こんな例会があったらいいのにこんな例会はできないの?等々、ご希望があれば例会委員会までお願いします。



広報委員会

広報委員会って何をしているのかご存知ですか? 皆さんに興味深く読んでいただくには...と広報委員が一丸となって年4回、北播磨市民活動支援センターの広報誌「アルシェレター」を発行しています。自主事業の記録、撮影も広報委員会が担当し、その写真はエクラ大会議室前廊下に掲示しています。また、アルシェニュース24と題して、皆さんの企画、事業、イベント等々を、各報道機関に投稿するお手伝いもしています。昨年からは、アルシェ日誌という名のブログを始めました。毎日更新していて、今後の事業やイベントなどを掲載しています。是非、チェックしてください。ブログは支援センターのホームページからも入っていただけます。(http://www.ksks-arche.jp) (アルシェレターに載せたい記事等ありましたら広報までご連絡ください!)



エクラガイドボランティア委員会

「何かお手伝いできることありますか?」そんな一言から始まった活動です。現在はスタッフも8名になりました。「エクラの中はどうなってるの?」と興味を持たれた小学生から県外からの視察まで、多方面の方々の案内役を務めさせていただきました。依頼者から「ここはいい場所ですね」と言ってもらえると心より嬉しく、又、鋭い質問に対しては、案内をしている私たちも、毎日が新しい発見の連続です。自分たちに出来る事に関わりながら、「人の輪」を広げていきたい。それがメンバーの共通の思いです。ちょっと気になったら、エクラに寄ってみませんか?



アナウンスチーム

私たち、アナウンスチームは現在5名で構成しています。私たちの主な活動はカゲアナとして舞台上でアナウンスをすることです。カゲアナは、お客様を直接見ることができないので、自分の声がちゃんとお客様に聞きやすく伝わっているのか不安になるときもありませんが、エクラホールにふさわしいアナウンスが出来るように頑張っていきたいと思っています。

